

## SYG s 第3回ミーティング 議事要旨

2022.4.24（日）16:00～17:00

於：山陽小野田市文化会館

出席者：岡田実、八木資義、桑原洋一、城久美子、藤元徹、秋本浩之、八木美濤（7名）

（議事）

### 1 補助金・助成金・協賛金について

・資料1「定期演奏会における補助金等の状況」に基づいて、補助金、協賛金、助成金についての説明があった後、メンバー間で協議

- ・山口県からの補助金は2019年（令和元年）で廃止され、今後復活する可能性はほとんどない。
- ・市からの補助金も今後の見込みは少ない。むしろ、主催者に入ってもらい、会場使用料を無料にしてもらうことに取り組んだ方が現実的だ。
- ・中電協賛金はパンフの広告料だが、2018年（平成30年）で終了。
- ・山口銀行からは協賛金、助成金合わせて25万円あったが、2021年（令和3年）からは、協賛金（広告料）のみで20万円と減額された。
- ・山口宇部空港ビルからは協賛金（広告料）20万円が継続（ただし、定期演奏会の開催地が周南地域以西の場合に限る）。
- ・2021年（令和3年）は、エネルギー文化・スポーツ財団から6年ぶりに助成金25万円を得ることができて財政的には大きな貢献となった。
- ・今後継続的に収入が見込めるものは、山口銀行と山口宇部空港ビルの協賛金合わせて40万円のみとなる。

・資料2「助成金の活用可能性検討」に基づいて、各種助成金の活用可能性についての説明があった後、メンバー間で協議。

- ・エネルギー文化・スポーツ財団は使い勝手がよく、申請も容易なので、今後とも5年に一度くらいのペースで申請したらよい。
- ・三菱UFJ信託地域文化財団は、エネルギー以上の金額が期待できそうなので、70周年演奏会あたりで挑戦してはどうか。今後さらに研究する。
- ・日本芸術文化振興会、日本アマチュアオーケストラ連盟については、手続きがかなり複雑だし、要件も厳しい。今後、さらに情報収集する必要がある。
- ・西京教育文化振興財団は、定期的に受けられる助成金ではないと思われるが、今年度の財源としてチャレンジしてもいいのではないか。
- ・やまぐち文化プログラム実行委員会、山口きらめき財団、秋吉台国際芸術村については、若手文化人の支援が主であり、山響の定期演奏会をそのまま対象にすることはかなり難しい。
- ・このほか、山口商工会議所の山口メセナ倶楽部の助成などがあるが、山口市内の事業であることなどの制約があり、山響の定期演奏会が対象になるかはさだかではない。
- ・大学のオケではパンフに企業の協賛広告を載せているが、そういう取り組みはどうか。

- ・友の会の創設などで、個人、法人から支援してもらうことは考えられないか。  
→友の会については、県内の状況なども整理して、後日の検討事項にする。
- ・助成金については、各種あり、様々な制約や条件等もあるが、よく検討して、毎年のように、いずれかの助成が受けられるように取り組むこととする。
- ・資料3「サントリー地域文化賞」に基づいて、サントリー地域文化賞の説明を受け、その後、メンバー間で協議。
- ・かなり難しいかもしれないが、山響ももうじき結成70周年になる。その時期を目指して、このサントリー地域文化賞を受賞できるように取り組むこととしたい。

## 2 次回協議事項

次回ミーティング 5月22日（日）秋吉台国際芸術村

協議事項は、「定期演奏会の集客対策、チケット販売対策」。

（文責：岡田）